

## 予算委集中審議 帰国邦人対応など新型肺炎めぐり論戦

2020-02-01・産経新聞 東京朝刊・5ページ

# 新型肺炎めぐり論戦

## 予算委集中審議 帰国邦人対応など

衆参両院の予算委員会は31日、それぞれ集中審議を実施した。1月30日に成立した令和元年度補正予算の審議では、安倍晋三首相主催の「桜を見る会」の問題やカジノを含む統合型リゾート施設（IR）に絡む汚職事件を野党が攻め立てる構図だったが、集中審議では新型コロナウイルスによる肺炎をめぐる政府の対応をたたき場面が目立った。

「取り組みが後手後手に回っているのではないか」  
31日の衆院予算委で質問に立った立憲民主党など野党統一会派の山井和則氏は政府にこう迫った。この



衆院予算委員会で答弁する安倍晋三首相  
＝31日午前、衆院第1委員室（春名中撮影）

めて外部と接触しないよう「氏に感染の疑いがある人の入国時の対応をたじた。だ、人権にもかかわる問題のため、加藤勝信厚生労働相は、帰国後に自宅に戻った邦人にも定期的に連絡を取り、不要な外出を控えてもらっていると説明。「実質的に同じ対応は取れている」と強調した。

一方の参院予算委でも、日本維新の会の柳ヶ瀬裕文氏が「参院は経済の下振れリスク対策を求め、首相は「事態の進展に応じ、必要があれば予備費の使用も検討したい」と答弁した。」と答弁した。

（1面参照）

(c) The Sankei Shimbun & SANKEI DIGITAL All rights reserved.